

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校  
学校だより

# 感じて動く

文責：校長 高木 修  
令和6年6月28日 No.7

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

## ◆「校長講話」6月25日（火）全校朝会にて

平成16年度から始まった「長崎っ子の心を見つめる教育週間」も今年度で21年目となりました。大村市では「7月1日を含む1週間」を教育週間として設定するように決まっていますので、本校では今年度の日程を、6月25日（火）～7月1日（月）に設定しました。教育週間を始めるに当たって、毎年、全校朝会を開き、校長講話をしているのですが、これまでリモートで行っていた全校朝会を、今年度は体育館で行いました。

今回は、「命の大切さ」について伝えたくて、「大きな数字」を紹介しながら、次のような話をしました。

### ■「42048000回」…1年間に心臓が動く回数

- 1年生で「252000000回以上」～
- 6年生で「462000000回以上」心臓は動き続けている  
→ 「生きている」というより「生かされている」

### ■「0.00000000000000134%」

- 人（あなた）が生まれる確率 → 命は奇跡

### ■「7000000000000000組」

- 一組の男女の遺伝子の組み合わせ
- あなたがあなたとしてこの世の中に存在している確率は「70兆分の1」  
（だから似ていても誰一人同じ人はいない） → あなたはかけがえのない唯一の存在

### ■20代前：「1048576人」 → あなたの命は多くのご先祖様から受け継がれてきたもの

- 1代前で2人、2代前で4人、3代前で8人、10代前だと1024人…  
→ 「命のバトン」を受け継いで来たのだから、「自分だけの命ではない」  
→ あなたの命が、これからの未来の子どもたちに受け継ぐ大切な命の源になる
- ご先祖様の中の誰か1人でも欠けていたら、「あなた」という個性を持った人間は存在しなかった  
→ あなたという命は、当たり前じゃない  
→ 誰の命もとても貴重で大切だ

※こんな「大切な命」を、粗末にするような言葉かけや行動は、絶対にダメ

※自分の命も、周りの人の命も大事にしよう

### ■命には必ず限りがある

- その限りがいつになるかは、自分ではわからない

※お互いに命を大事にし合いながら、精一杯、楽しく明るく生きていこう

皆さんが元気に過ごす姿をこれからもたくさん見せてほしい

あなたがあなたとして  
この世の中に存在している確率

**70兆分の1の奇跡**  
**誰一人同じ人はいない**  
**かけがえのない存在**

**生かされている命**

「命のバトン」を受け継いだ命  
奇跡の確率で与えられた命  
**たった一度だけの命**

**自分の命も**

**周りの人の命も**

**大事にしよう**

